

る、異色
です。
公式サイト↓



右上から ふれあいフェアポスター、私のまちのおふじさん(新十条富士塚計画)、日野市高橋家長屋門模型、児童画展金賞作品2点、右側ワークショップ(モザイクタイルアート・ひかる泥団子・折り紙けんちくん)

今年メインテーマは「つくるー建築・環境・未来ー」

快適で環境にやさしい安全な街・建物・家を想像した建築模型、パネルを中心に展示されました。

会場レイアウトはパターションがなくなり、見通しの



第七日二にの十て二六開日回催間建 築ふれあいフェアが九月六日(土)に開催されます。

展示内容

会場中央の円形壁には、恒例の優れた建築に贈られる東京建築賞受賞作品や、第四回京都市建築賞受賞作品、建築作品パネルの展示がされています。その他、各支部紹介の建築物や街並み・景観等を比べた、「今昔写真」では、渋谷支部は変わりゆく渋谷駅の周辺、京王井の頭線渋谷駅の変貌写真を展示しました。

模型では古建築の調査をテーマにした茅葺屋根模型や、各社が制作した超高層ビル模型、スタディール模型が展示され、

良いゆったりとした会場となったことで、恒例のワークショップも充実され多くの来場者が参加し楽しんでいました。また、賛助会各社の出展も昨今の災害対策や、エコロジー等の技術展示しPRしていました。

一般の方にもわかりやすい工夫がされました。

また、今年も独自の大学建築学部の設計作品が展示され、建築の未来への可能性が示されました。



児童画展

本年度の児童画展では、「地球にやさしい すんでみたい いえ、くらしてみたい まち」をテーマに、子どもたちの豊かな発想と未来への希望があふれる作品が多数寄せられ、未来の住まいや街のあり方をユニークな視点で表現し、来場者の関心を集めました。

エコロジーと楽しさを兼ね備えた視点で描いた作品や、自然との共生や水の循環といった、持続可能な未来の暮らしを考えた作品です。環境

今年のもふれあいフェアは、来場者も多く建築の楽しさを、世代を超えて共有する貴重な機会となりましたようです。

環境への優しさや、「誰かのために家を作りたい」という温かい気持ちや、未来を想うまっすぐな気持ちと、地球へのやさしさが、ぎゅっと詰まった作品でした。



協力会員コーナー

協力会員の皆様の紹介欄です。PDF又はJPEGでお送りいただきましたらこの欄に載せます。

タイカヒフクで、

暮らしの安全を支える

WE SUPPORT SAFETY, WE PROTECT SOCIETY.

fushimi

巻付け耐火被覆工事の
伏見工業株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川1-24-6

Tel 03-3471-4468 FAX 03-3458-5363

